



ルイ・ヴィトン展覧会内覧会

12名が出席

レ・クレドールメンバー参加者 (敬称略)
阿部佳 (グランドハイアット東京)
今泉愛子 (グランドハイアット東京)
川村一司 (パレスホテル東京)
齋藤美紀 (シャングリ・ラホテル東京)
芝田尚子 (ザ・プリンスさくらタワー東京)
住吉真矢子 (パレスホテル東京)
竹内郁代 (ホテルグランパシフィック LE DAIBA)
田中あかね (ザ・ペニンシュラ東京)
浜崎統 (ホテルオークラ東京)
東出江津子 (ザ・キャピトルホテル東急)
丸山ひろみ (翠嵐ラグジュアリーコレクションホテル京都)
桃井忍 (ANA インターコンチネンタルホテル東京)

4月22日、レ・クレドール ジャパンの賛助会員でもあるルイ・ヴィトン ジャパン株式会社様より、翌4月23日より6月19日まで開催される「Volez, Voguez, Voyagez - Louis Vuitton」(空へ、海へ、彼方へー旅するルイ・ヴィトン)展の内覧会へ、レ・クレドール ジャパンメンバーをご招待くださいました。

同展覧会では、1854年から今日までの創業家一族やお客様が所有する貴重な品々でその歴史を振り返ります。

会場内は10の空間(木材、クラシックなトランク、旅、絵画、音楽、日本など)に分かれています。それぞれの空間が独特な作りになっていて、来場者を飽きさせません。今回は、会場内をスタッフの方がガイドしてくださりました。同様のガイドサービスは、事前予約を行えば、一般の来場者でも利用可能です。



会場では、110年前のトランク、板垣退助氏や白洲次郎氏が生前に利用されていたトランク、さらに、茶道具収納トランクや某歌舞伎俳優の方から依頼を受けた特注品の歌舞伎化粧道具用トランクなども展示されていました。

展示エリアの先には、今回の展覧会のためにフランスから来日しているという職人の方々の実演スペースがありました。普段とはきつと異なる状況下ながら、黙々と手際よく作業をされる様子には、

ついつい時間を忘れて見入ってしまいました。同展覧会は入場無料です。アジアでは日本のみの開催とのことで、ルイ・ヴィトン社と日本の強いつながりを改めて認識いたしました。なお、同展覧会の次回開催地は米国のニューヨークだそうです。ちなみに、今回展覧会が開催されている東京・紀尾井町という地は、1978年にルイ・ヴィトン社が日本第一号



店を開業したゆかりのある地とのことです。

内覧会後は、六本木ヒルズ内のブティックに場所を移し、そちらの内覧も行っていただきました。同店舗では、展覧会会期中の特別展示として、入口にアンティーク・トランクを美しく積み上げたタワーディスプレイを行っています。一見の価値ありですので、ぜひ、近くにお越しの際は立ち寄ってみてください。

最後に、今回の素晴らしい機会をくださったルイ・ヴィトン ジャパン株式会社様に一同を代表して心から御礼を申し上げます。

(浜崎 統)



レ・クレドールメンバー来日報告

2組が来日

海外のレ・クレドールメンバーが来日を果たされたため、レ・クレドール ジャパンとして歓迎食事会を開催し、交流を深めました。



2月に、ホゼ・パウコ氏(イギリス・ロンドンにあるマイルストーンホテルのヘッドコンシェルジュ)が婚約者のユキコ氏(元レ・クレドール オーストラリア所属のコンシェルジュ)と東京を訪問されました。



3月に、ベンス・ビロ氏(ハンガリー・ブダペストにあるコリンシアホテルのアシスタントチーフコンシェルジュ)がご友人と横浜を訪問されました。

2016年度年次総会開催

4月19日、ホテル椿山荘東京にて年次総会が開催され、コンシェルジュ会員23名、賛助会員5社8名が出席いたしました。また、エグゼクティブコミッティーにより、下記の通り、新規会員が承認されました。

<コンシェルジュ会員> 小野山麻子氏(インターコンチネンタルホテル大阪)

<賛助会員> 株式会社アウトドアテクノロジー

4月19日現在、レ・クレドール ジャパンは名誉会員2名、コンシェルジュ会員26名、賛助会員15社で活動を行っております。